

受付番号	1	受付月日	5月26日
		午前・午後	8時30分

東郷町議会議長 加藤 宏明 殿

東郷町議会議員 会派名 無 会 派

議席番号 3 番 氏 名 中野まさひろ

一 般 質 問 通 告 書

東郷町議会会議規則第59条第2項の規定により、次の事項について質問（**一問一答方式**・一括質問方式）したいので通告します。

記

No. 3 - 1

質問事項	質問要旨	答弁者
1 町長マニフェスト「30人学級少人数授業」の推進について	<p>子ども達の発達、学力の向上に少人数学級が有効であることが明らかになっている。コロナ禍で子ども達はストレスを抱え、意欲の低下をきたしている。また、長時間労働を強いられている教員の負担軽減は待ったなしの状態である。</p> <p>これらの問題解決に好条件を確保するためにも、教員の増員による「30人学級、少人数授業」を早期実施する必要がある。</p> <p>(1) 町長マニフェスト「30人学級 少人数授業」についての町長の思いを問う。</p> <p>(2) 小中学校における30日以上の欠席児童生徒数の推移を問う。</p> <p>(3) 小中学校における別室登校の児童生徒数の推移を問う。</p> <p>(4) 周辺市における少人数学級、少人数授業の実施状況を問う。</p> <p>(5) 本町における30人学級、少人数授業の実施のために必要な人員および経費を問う。</p> <p>(6) 30人学級、少人数授業の実施のために必要な教室の確保について問う。</p> <p>(7) 30人学級、少人数授業の実施計画を問う。</p>	町長 教育長 担当部長
2 町長マニフェスト「放課後児童クラブ待機“0(ゼロ)“へに	<p>放課後児童クラブの利用希望者は増加傾向にあり、毎年少なからず待機が発生している。</p> <p>児童が放課後の時間等を安全・安心に過ごすことができ、多様な学習や地域に根差した体験・交</p>	町長 教育長 担当部長

(注) 要旨は、具体的に記載すること。

質問事項	質問要旨	答弁者
<p>ついて</p> <p>3 町長マニフェスト「農業支援・有機農業推進」について</p>	<p>流活動ができるようあらゆる手段で居場所を確保する必要がある。</p> <p>(1) 町長マニフェスト「放課後児童クラブ待機“0（ゼロ）“へ”についての町長の思いを問う。</p> <p>(2) 放課後児童クラブの待機状況を問う。</p> <p>(3) 放課後児童クラブの利用見込みの積算方法を問う。</p> <p>(4) 「第2期東郷町子ども・子育て支援事業計画」における放課後児童クラブの利用見込みと現実との乖離要因を問う。</p> <p>(5) 今後の放課後児童クラブの利用見込みを問う。</p> <p>(6) 長期休業中の当初希望以外の放課後児童クラブ利用数を問う。</p> <p>(7) 待機取り下げ数と取り下げ理由を問う。</p> <p>(8) 周辺市の放課後児童クラブの設置・運営主体別数を問う。</p> <p>(9) 周辺市の放課後児童クラブ待機状況を問う。</p> <p>(10) 周辺市の放課後児童クラブ待機への対応策を問う。</p> <p>(11) 放課後児童クラブ待機“0（ゼロ）“実現のためには、学校の空き教室利用、児童館・放課後児童クラブ民営化事業等定員増のためのあらゆる努力を尽くす必要があると考えるがいかがか。その対応策を問う。</p> <p>国は、持続可能な食料システムの構築に向け「みどりの食料システム戦略」を策定し、中長期的な観点から、調達、生産、加工・流通、消費の各段階の取組とカーボンニュートラル等の環境負荷軽減のイノベーションを推進するとしている。</p> <p>本町は、有機栽培食材の学校給食での使用で全</p>	<p>町長 担当部長</p>

(注) 要旨は、具体的に記載すること。

質問事項	質問要旨	答弁者
<p>4 名古屋市立八事斎場の再整備に伴う、本町の火葬計画と斎場整備について</p>	<p>国的にも注目されており、本町の農業支援のためにも有機農業の拡大を旺盛に進める必要がある。</p> <p>(1) 町長マニフェスト「農業支援・有機農業推進」の基本理念と本町農業の将来ビジョンについて町長に問う。</p> <p>(2) 本町の緑地と農地の現状について問う。 ア 緑地面積（農地、山林、その他） イ 農地面積（田、畑、その他） ウ 農地の内有機農地の割合（田、畑） エ 遊休農地の5年間の推移</p> <p>(3) 本町の就農者の現状について問う。 ア 就農者数 イ 就農者の年齢構成 ウ 5年間の就農者数及び年齢構成の推移</p> <p>(4) 「農業未来プロジェクト会議」および「有機農業推進協議会」の構成員と役割について問う。</p> <p>(5) 「有機農業推進計画策定委員会」の構成員および「有機農業推進計画」の目標についての町としての考えを問う。</p> <p>名古屋市立八事斎場の再整備に伴い、名古屋市民外の火葬受け入れが大幅に制限される見込みである。 本町住民の火葬は多くを名古屋市立八事斎場に頼っており、その間の本町住民の火葬を他の火葬場に依頼する必要がある。 また、今後の火葬需要増を視野に入れ、周辺市と連携し斎場整備に関し検討が必要である。</p> <p>(1) 本町住民の直近5年間の火葬場別火葬実施状況を問う。</p> <p>(2) 名古屋市立八事斎場の再整備計画について問う。</p> <p>(3) 名古屋市立八事斎場の再整備工事期間中の対応策について問う。</p> <p>(4) 本町の火葬需要予測について問う。</p>	<p>町長 担当部長</p>

(注) 要旨は、具体的に記載すること。